

3月も半ばになり、春らしい暖かい日が増えてきました。大雪の話はずい分前のことになりましたが、やさしい気持ちや感謝の気持ち、勇気をもって自分にできることをやってみることは、これからも続けていってほしいと思います。

<朝会で話した主な内容> テーマ:「やさしさと勇気を忘れずに」

先週の大雪は、大変でしたね。電車が遅れたりモノレールが止まったりして、怪我をした人のニュースも流れていました。朝の登校が心配でしたが、みんなが登校する時間には、南門から運動場のところにシャベルで道がつくってありましたね。人も給食を運んでくる車も安全に通れるように、西門から駐車場のあたりも先生方や用務主事さんたちが雪かきをしてくれました。いつもと違うことがあっても、いつも通り安心して過ごせるように一人一人が力を出し合ってくれて、ありがたいことだと思いました。

木曜日には、夕方サッカーで練習に来ている人たちが、運動場の雪かきをしてくれていました。積もった雪で体が冷えてしまうのに、運動場が早く使えるように長い時間をかけて、片づけてくれたのです。日曜日に野球で練習に来ている人たちは、地面をきれいにならしてくれました。九小の雪が早くなくなったのには、そうした人たちの働きがあったのです。5年生の中には、中庭の雪かきを手伝ってくれた人たちがいました。用務主事さんも、みんなのおかげで早くきれいになったととても喜んでくださいましたよ。

今では、大分雪がなくなりましたが、日の当たらないところでは凍って滑りやすいところもあります。雪のないところをお互い通れるように、道の脇に寄って、相手が通り過ぎるのを待っている人も見かけました。

困っている時に、手を貸してくれたり、やさしい言葉をかけてもらったりすると、本当にうれしいものです。相手の気持ちになって「どうぞ」と譲る気持ちをもつこと、思いやりのある行動や言葉をもらったら、「ありがとう」の感謝の気持ちをもつこと、自分にできることはないかなと考えて勇気をもってやってみることを、3つのことを心にとめて、やさしい気持ちで毎日を過ごしてほしいと思います。

- 1 雪が降り終わって少し立った日に、学校へ行く道などが凍って滑りやすくなっていました。注意しながら登校していると、凍っているところをシャベルなどですくっている方を何人か見ました。中には、水でとかしている方も見ました。朝早くから雪かきをしている人を見ると、「朝早くからお疲れ様です。」と心がほっとしました。
- 2 雪が降って道が通りづらくなったけど、次の日に少しだけ通れるようになって、誰かが雪かきをやってくれたんだと思い、感謝しました。私が住んでいる家はあまり日光が当たらないので、雪がまだ固いです。その固い雪をどかしてくれた人のことを思うと、人のためにやる人に自分もなりたいたいと思いました。
- 3 私の家の周りも学校から帰ってきたら、すごくきれいに雪がなくなっていました。近所の人のおかげで、安全に下校することができました。
- 4 私がいつも歩いている道はしっかり雪かきをしていて、頑張ってくれたんだなと思いました。そのおかげで、私は滑ったり転んだりしなくてすんだんだなと、思いました。
- 5 自分たちが登校するという一つの行動でも、陰には人の努力があるということを知りました。だから自分も大人になったら、陰で子供たちを支えられるようにしたいと思っています。
- 6 いろいろな人が力を合わせていた部分が心に残った。ネットで見た、雪のせいで点字が分からなくなって歩けなくなってしまった人の話を思い出した。私もそういう人を助けようと思いました。
- 7 雪かきをしたら町の人が助かるので、助け合いが大切だと思いました。これからも困っている人がいれば助けます。
- 8 雪かきは大変で、やってくれた人たちに感謝したいと思いました。雪で遊ぶのは楽しいけれど、雪かきする人は大変だな、と思いました。
- 9 校庭やあしっこガーデンを雪かきしてくださった人に、とても感謝しています。みんなが滑らないようにしてくれたり、元気に楽しく遊べる校庭にしてくれたりして、とてもうれしいです。
- 10 その日、友達と先生と一緒に雪かきをした。最初はやりたくなかったけど、やってるうちに楽しくなってきた。ものすごく汗もかいた。けど、楽しかったし、さっぱりした。
- 11 雪かきをしていた先生や主事さんに感謝です。雪は、楽しい面と嫌な面があるから、雪かきをみんなでやれば、楽しいと思えるかもしれない。
- 12 一番心に残ったのは、いろんな人たちの助けで校庭などがきれいになったことです。そのことからいろんな人のやさしさが分かりました。これから、いろんな人の助けになることをしていきたいと思いました。